

モーツアルトに 質問



Q

もし、モーツアルトが現代に蘇って現れたとしたら、ご自身の役柄について質問されたいことはありますか？

騎士長役



| 片桐直樹

騎士長の音楽で疑問を感じることも難解な箇所も全く無く、理に叶いすぎて質問のしの字も思い浮かびません。あえて言うなら、このような完璧な音楽を思いつくのにいつたいどのくらいの時間を要したのか？という質問くらいです。

| 萩原泰介



2幕フィナーレで現れた石像はモーツアルトの父親像なのか、或いはドンジョヴァンニ自身の正義的一面なのか、それとも殺した騎士長なのかという事、前奏曲の最初にこの三重唱のモティーフが使われる程、重要なキャラクターであるため。

Don Giovanni



ドン・ジョヴァンニ

ドンナ・アンナ役

| 中西千尋



「ドン・ジョヴァンニ」では、三人の女性が登場しますがそれに与える役割は何ですか？また、ドンナ・アンナには secco recitativo(朗誦)がほとんど無く、recitativo accompagnato(伴奏付き朗誦)での歌唱が多いですが、何か意図や理由はありますか？



| 木澤佐江子

ドンナ・アンナはドン・オッターヴィオに「1年待って下さい」と言いますが、1年後の2人は結ばれるのか、それとも別々の道を行くのか

ドン・オッターヴィオ役



| 諏訪部匡司

今回の主役は絶世の男前のバリトンですが、一生懸命だけど少し頼りないオッターヴィオの事はどう思っていますか？テノールは、好きですか…？



| 秋本靖仁

有名な2つのアリア「dalla sua pace」(彼女の心のやすらぎこそ)と「il mio tesoro intanto」(私の愛しい人へ)どちらが好きですか？

ドンナ・エルヴィーラ役



| 佐竹しのぶ

2幕でレポレッロに変装させエルヴィーラを口説かせる場面、ドン・ジョヴァンニは二人がいよいよ盛り上がってきた所で大声でわめき立てますが、エルヴィーラを連れ出す目的

とはいえ、どこかに妬きもちもあつたりしますか??
…そう思いたいエルヴィーラより♥

マゼット役



| 菊田隼平

このオペラ男性キャスト全般にいえることですが、現代にも通ずる男性像を描いていくように思います。モーツアルトさんが作曲当時に考えていたマゼットの性格をズバリ教えてください!「強がっているけど、弱い。でも何よりツェルリーナを愛している!」で合っていますか?

森川華世



たくさんの女性の中で、どうして私と結婚してくれたのですか?

レポレッロ役



| 萬田一樹

モーツアルトがいきていたら…。モーツアルトと対話できることは、演奏家の素晴らしい秘密の特権です。レポレロを演じる際のヒントというか、答えはすべてモーツアルトのスコアのすべての音符が伝えてくれています、今はスコアと向き合う度に時を超えてそれを受け取れる喜びで胸がいっぱいです。

山咲響



レポレッロは今まで何人の女性とお付き合いしてきたのでしょうか? モテる男なのかそうでないのか? 男として気になります(笑)また、ご主人が地獄堕ちした後は誰に仕えるのでしょうか?

谷本尚隆



一枚上なZerlinaですが、頑張れMasetto!

ツェルリーナ役



| 奥田 敏子

3人の女性が実在するしたら、誰が1番タイプですか? あと、Zerlinaの血液型はO型で合っていますか?

岩本実奈子



恋人からの嫉妬、他の男性に惹かれる様子、恋人を言い包めるアリアなどオペラ中に色々な面が見られますが、Zerlinaはどんな女性だと思いますか?

また新婚らしい場面が少ないので、ZerlinaとMasettoの今後はどのように想像されていますか?



Concert Review

コンサートレビュー

関西二期会第93回オペラ公演 「オテッロ」

半世紀超の歴史を誇る関西二期会が、満を持してヴェルディの一大傑作オペラ「オテッロ」(全4幕)の初公演を行った。コロナ禍の影響により、関西二期会にとって先の第92回オペラ公演以来実に1年9ヶ月ぶりの大舞台。様々な制約や困難を乗り越えて開催された待望の公演だった。

当初来日予定であった指揮者グイード・マリア・グイーダの代役を務めたのは柴田真郁。大阪交響楽団を見事に率い、幕開けの荒れ狂う海辺の嵐の情景から気迫に満ちた演奏を開幕。群衆を担う関西二期会合唱団(コロナ対策として少数精鋭の24名)の充実した歌声を巧みに交錯させつつ、シェイクスピアの深淵なるドラマへと観衆の心を一挙に引き込んだ。同じく来日の叶わなかった演出家パオロ・パニッツアの演出ノートに則り、群衆をはじめこのオペラに登場する様々な登場人物たちの動静を有機的に纏め上げたのは演出家の高木愛。緊迫感ある人間ドラマの諸相を終幕に至



27日公演 第2幕より 撮影：早川壽雄

るまで多様に表出し、演出補佐としての使命を大いに果たしたと言えよう。 タイトル・ロールのオテッロ役に挑んだのは小餅谷哲男。持ち前の美声と表現力で、嫉妬心により運命の歯車を狂わせてゆく極めて情動的な歌唱を聴かせたが、術後間もない身ということもあって第3幕からは舞台上で演技のみを行い、代役として松本薫平がエプロンステージに立ち歌唱を引き継ぐことに。この異例の二人三脚の

形で終幕まで進められ、デズデーモナ役の畠友実子によるアリア「柳の歌～アヴェ・マリア」の悲痛かつ清純な名唱と迫真の絶命シーンの後、オテッロの自死の場に至って小餅谷が演唱に復帰。渾身の歌で舞台を完結させた(死後の世界でオテッロとデズデーモナが再び結ばれるようなラストの静謐な演出は実に印象的だった)。

そして稀代の悪役イヤーゴを担った米田哲二も秀逸の演唱。オテッロを陥れるイヤーゴ自身、邪気に取り付かれた犠牲者であるかのような屈折した心理的侧面や業欲に満ちた闇黒的な存在感を表し、このオペラのやるせなき悲劇性を存分に引き立てた。

(11月28日公演：村田英也)



28日公演 第3幕より 撮影：早川壽雄

2021年11月27日(土)、28日(日)

メイシアター 吹田市文化会館大ホール

指揮者：柴田真郁

演出：Paolo Panizza

(パオロ・パニッツア)

管弦楽：大阪交響楽団

谷 ゃんの 企画・制作 デイリーライフ

⑬ボランティアとマーケティング

「大阪クラシック」に、ボランティアで参加したことがある。大阪の御堂筋や中之島などで毎年8月から9月にかけ1週間ひらかれている、地域振興型の音楽祭。といってもホールでの公演は少なめだ。オフィスビルのロビーやカフェ、市役所など公共施設のイベント会場、学校など、人々に身近な街角で、概ね40分ほどの、主に無料の公演が数多く催される。

創設は2006年。大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督だった指揮者の大植英次氏の発案で、大フィルと大阪市役所などでつくる実行委員会の主催。いまでは在阪の他の楽団や吹奏楽団などが加わる初秋の風物詩となっている。コロナ禍でも継続されている。

「お手伝い」をしたのは2013年だった。当時、筆者が勤めていた梅田のザ・フェニックスホールは毎年、数公演を受け入れていた（それは今も続いている）。ホール本体はもちろんのこと、ホールが入居するビルのエントランスロビーも会場となり、ホールスタッフ一同、力を合わせ、この「音楽のお祭り」に携わっていた。これは「仕事」だった。

加えて2日間、今度は年休をとり、個人的にボランティアを志願したのだった。理由の一つは音楽事業経営の研究の立場で、「外」から事業を見て知るだけでは気持ちが収まらず、「内」に入って運営の実態を感じてみたかったからだ。この手法はエスノグラフィーと呼ばれ、或る共同体の中にすっぽり入って行う「参与観察」が特徴とされる。

でも、いま思うと自分なりに、更にもう少し、この事業に魅せられる部分があった気がする。実行委のスタッフが文字通り汗を流し走り回っているのを見る中で、「仕事」の枠に收まりきらない、沸騰するような衝動があったのだろう。でも、その内実は確かめないまま過ごしてきた。

先月、大学の授業で、名古屋の或るホールの経営を取り上げた。この館は、年間数百回もの公演を、しかも主催事業として行なったことで知られる。業界の常識では驚異的な数字だ。この数に比してスタッフは必ずしも多いとは思えなかつた。経営の実状を知るため、何度も足も運んだ。

現地で聴いた一つに、ボランティアの活躍があった。あまたの公演をPRするため、広報をしてくれる人々をかつて市井から募っていたのだ。彼らは毎月、ホールから届くチラシを自宅近くや、所属サークルなどで配布する。ホールで聴いた

講義を基に、口コミ宣伝もする。見返りに月一回、公演を無料で聞かせてもらえるが、金銭報酬はなし。「音楽を広める喜び」はもちろん、「新たな仲間と協働する楽しさ」「意味の有る営みに役立っている、という自己肯定感」など、利他利己さまざまな動機がボランティアを突き動かしていることが研究者の調査などで明らかにされていた。

つまり音楽やホールが人と人とを、人々と社会とを、それぞれ繋ぐ機会を提供している。芸術としての音楽の在り方も保ちつつ、普通の人々に「社会で協働する喜び」をもたらす素材として音楽が位置付けられてもいた。

この経営は、タカラヅカのファン組織などに特徴的な「リレーションシップマーケティング」の一種と見られる。人々との関係性をはぐくむ中で、商品やサービスの需要喚起を図る手法だ…と講義する中でハッと気付いたのだ。自分が大阪クラシックに惹かれた要因も、これだったのかもしれない、と。



ボランティア参加の際、いただいた「大阪クラシック」のTシャツ。今でもたまに愛用しております

沖縄の多くの地域のように、人々の繋がりが強い土地は別として、大都市に生きる人々の中には人間的な繋がりをあまり持てず、時に孤立する例も少なくないのではないか。時には、一人の人として、温かく人と繋がりたい、出会いの中で新鮮で味わい深い人生を送りたい。そう願うこともある。その思いをくい上げる事業として、大阪クラシックを位置付けることも出来るのではないか。

この音楽祭に限らず、事業の主催者にとってボランティアの運営は時にシンドイものだ。だが、それを経営に取り入れる豊かさに着目もしたい。

（谷本 裕 沖縄県立芸術大学教授、関西二期会顧問）

オペラ座の 凡人

~平凡人の歌劇な隨想~

その 44 「平凡人の歌劇な隨想」

劇聖シェイクスピアの、作品の知名度に比べて、ご本人のほうは謎に包まれている。

なにしろ生まれた日すら判然しない。今なお、生年月日に諸説あり、だとう。この、「諸説あり」なんてとき、我々みたいな年配者は要注意なのだ。大抵の場合、あとで「新説中の新説、いよいよ登場、多数の支持で流布か!」なんて記事が乱れ飛んで、その騒ぎのうちに新説が知らん顔で「真説」の王座に就いておさまり返っている、という仕掛けになっているから。しかし劇聖シェイクスピアで言えば、新しい耳慣れないう説が出てきて覚えきれずに困ることもないようだ。我々が昔覚えた「以後無視できず、色々に上演シェイクスピア(1564~1616)」という、沙翁(シェイクスピア)の生没年は、もう動かないようだ。諸説ありで揺れているのは、年でなく月日だった。

そして、この拙文の冒頭で「その人生は謎に包まれている」と書いたように、シェイクスピアとは、奇抜な人生の旅人だった。たとえばその姓名が、じつは個人名でなく、複数の屋号だとする説がある。つまり共同体としての「作家集団!シェイクスピア」だったとする説だ。かなり真剣な研究が複数あり、刮目して観るべき沙翁学の方向だ。

そしてシェイクスピア(沙翁)は、世間の鬼も、酸いも甘いも、そのうえ縁もゆかりもない、辛酸までも舐め尽くし、地球を世界を、そして人生を、独特の静かな視力で見つめた。それは「形而上の視力」とも言えるだろう。そうしたシェイクスピアが無闇に実感こもった良い言葉を残している。

「地球は、世界は、すべて舞台。舞台は世界。人は、この世界という舞台に来て、人生という名の芝居で、自分の役を演じる役者だ」

確かに想うことがあるだろう。自分の生きて来た年月、これまでの人生は、誰かが台本や脚本や戯曲に書いたものを、自分は単に演じただけかも知れない…と、しきりに思えて心が騒ぐ夜更けもある。

こういう人生観や芸術観をもっていた沙翁は、それでは悪人役をなんと見ていただろう。

悪役もまた、自分で自分の役を演じて生きてゆくのなら、世の中にはんとうの悪党なんて居ないことになる。

人は皆、自分という役を生きているなら、自分が、自分であることを見つけるなら、光の惑星に生まれ、自分に用意された糧、「神からの糧(かて)」を食(は)んで生きるなら、たとえ一時期の迷いや間違いがあったとて、人に悪党はない。そう考えたあとで観れば聴けば、オペラに登場する悪役に、作家と作曲家が、どれだけ神経を尖らせ、良心を危険な目に合わせつつも、悪役を愛しているかがわかる。蝶々夫人がいくら良くても、ピンカートンが不味いような舞台は、たとえうっかり観て聴いてしまっても、出来るなら忘れたほうが良い。《オテッロ》で、最低男のイヤーゴが、本当に全身が嘘と策略とで塗り固めたようでなければ芝居の緊張感は崩壊する。

微笑みのなかで運んでいくと思わせ、真相は深々とした闇の底にあるモーツアルトの《ドン・ジョヴァンニ》。これは悪役が題名役。それが、ただの色好みのオッサンで済んでしまえば苦労もないけれど、心の内奥が黄金に輝く、芸術だけに成せる、奇蹟の瞬間に立ち会うことではない。さて…

あなたは、どんな悪役がお似合い?

(作家・音楽評論家: 韶 敏也)

公益社団法人関西二期会贊助会 入会のお願い

関西二期会は、オペラを中心とした音楽活動及び真摯な芸術活動を通じ、社会に夢や潤いを与え続けます。関西二期会の活動にご賛同いただける皆様に、法人・個人を問わず、何卒贊助会員としてご入会下さいますようお願い申し上げます。

贊助会員ご芳名

特別会員 : 上野製薬株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	倉敷紡績株式会社	ダイキン工業株式会社	阪急電鉄株式会社
株式会社淺沼組	鴻池運輸株式会社	大日本除虫菊株式会社	富士有限会社
荒川化学工業株式会社	学校法人神戸女学院	タカラベルモント株式会社	株式会社丸善
稻畠産業株式会社	コーナン建設株式会社	株式会社竹中工務店	ミズノ株式会社
株式会社エフエム大阪	サラヤ株式会社	株式会社帝国ホテル	株式会社美々卵
株式会社大阪共立	サントリーホールディングス株式会社	株式会社テクノープル	森下仁丹株式会社
大阪シティ信用金庫	三宝電機株式会社	東京衣裳株式会社	株式会社モリタ
公益財団法人オリックス宮内財團	株式会社滋慶	医療法人二村耳鼻咽喉科ボイスクリニック	ロイヤルステージ株式会社
京セラ株式会社	住友電気工業株式会社	株式会社ハートス	

(他、匿名 1 社)

芦原 恭子
我孫子 昌三
石塚 克哉
伊藤 繁
岩佐 益男
江崎 正道

遠藤 秀夫
門屋 淳子
北嶋 勇志
萩田 由美子
黒田 まさき
小谷 公穂

小八木 規之
佐野 吉彦
佐守 友博
杉野 守彦
辰野 勇
田中 昭子

田中 義雄
藤堂 稔之
中村 雅夫
西田 俊夫
仁禮 直之
長谷川 弘

林 律
早嶋 茂
樋口 信治
藤友 俊雄
山口 博子
山口 真子

(令和3年12月末現在 敬称略)

新入会員の紹介

黒田 志帆 *Shiko Karoda* (ソプラノ準会員)

大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コース卒業。2019KOSMA声楽コンクール大阪府知事賞。第14回ベーテン音楽コンクール金賞。第49回堺市新人演奏会、第23回泉の森フレッシュコンサート等に出演。広瀬千秋、田口久仁子、玉井裕子の各氏に師事。



別所 香穂 *Kaho Bessho* (ソプラノ準会員)

神戸女学院大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学オータムコンサート、新人演奏会、第61回関西新人演奏会等に出演。神戸女学院大学とサム・ヒューストン州立大学、合同オペラ「ディードとエヌアス」に第二の魔女として出演。櫻田真須子、松本薰平各氏に師事。



山本 舞 *Mai Yamamoto* (ソプラノ準会員)

相愛大学音楽専攻科修了。G.ヴェルディ国立音楽院海外研修ディプロマ取得。第5回あおによし音楽コンクール、第20回長江杯国際音楽コンクール奨励賞。第18回大阪国際音楽コンクール入選。泉貴子、松原友、西田幸江各氏に師事。枚方演奏家クラブ会員。



北出 はづき *Haduki Kitade* (ソプラノ準会員)

同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽コース卒業。在学中オペラクラス公演《フィガロの結婚》マルチェリーナ役出演。滋賀大学大学院教育学研究科音楽教育専修修了。これまでに声楽を石津雅恵、川下由理、木川田澄各氏に師事。天理市音楽芸術協会会員。



西山 加奈子 *Kanako Nishiyama* (ソプラノ準会員)

武庫川女子大学音楽学部声楽学科卒業、同大学音楽専攻科修了。第52回関西新人演奏会、第50回武庫川新人演奏会に出演。第18回姫路パルナソス音楽コンクール入賞、第15回神戸新人音楽賞コンクール最優秀賞受賞。田原祥一郎氏、上山敦子氏に師事。



安川 陽菜 *Haruna Yasukawa* (ソプラノ準会員)

神戸海星女子学院卒業、神戸女学院大学大学院音楽研究科修了。同大学オータムコンサート、新人演奏会、第42回読売中部新人演奏会出演。第16回ベガ新人演奏会にて優秀演奏賞受賞。第22回大阪国際音楽コンクール オペラコースAge-U 第3位。斎藤言子氏に師事。



吉本 朱里 *Akari Yoshimoto* (ソプラノ準会員)

大阪音楽大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学専攻科修了。同大学在学中「こうもり」ロザリンデ役、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ役、「フィガロの結婚」ケルビーノ役で出演。これまでに福島慶子、田中友輝子、田中勉の各氏に師事。



スケジュール2022-2023 ♦2022年1月現在

2 February

6日(日) 16:30
関西二期会オペラ研修所第55期生 第一回定期演奏会
YOSHUホール
出演: 嶋田優介/青木文音/糸田麻里絵/茶川美音/種村ひかり/山本舞

25日(金) 18:30 延期(日時未定)
Chantfleurs ~花をうたう
豊中市立文化芸術センター小ホール
出演: 岸畑真由子/松井るみ

3 March

12日(土) 16:00、13日(日) 14:00
第94回オペラ公演『ドン・ジョヴァンニ』
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
12日出演: 大谷圭介/片桐直樹/中西千尋/諏訪部匡司/佐竹しのぶ/萬田一樹/菊田隼平
奥田敏子
13日出演: 萩原寛明/萩原泰介/木澤佐江子/秋本靖仁/森川華世/山咲響/谷本尚隆
岩本実奈子
公演監督: 米田哲二

17日(木) 15:00
オペラ研修所第57期生修了オペラ『愛の妙薬』
ピッコロシアター大ホール
出演: 吉本朱里/北出はづき/別所香穂/西山加奈子/鳥山浩詩/藤田大輔/黒田まさき
黒田志帆/安川陽菜

21日(月・祝) 14:00
中川令子 Anniversary Concert
大和高田さざんかホール 大ホール
主演: 中川令子

(主催公演、当会が後援する公演)

4 April

21日(木) 19:00
フランスの声 *Série II 5e*
Musicien Charmé ~魅せられた音学家~
兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
出演: 浅井順子/安部俐希/加田真紀子/粉川陽子/志水祐子/
末廣亜矢子/野村明代/東奈央/福原亜季/萬田一樹/水野昌代/南出真美/山崎覚

5 May

20日(金) 19:00
ドイツ歌曲の流れVol.31 ~恋歌~
兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
公演監督: 三井ツヤ子

6 June

17日(金) 19:00
ゴーラデンコンサート
住友生命いづみホール
公演監督: 門屋菊子

11 November

25日(土) 16:00、26日(日) 14:00
第95回オペラ公演『リゴレット』
吹田市文化会館メイシアター大ホール
指揮: 鈴木恵里奈 演出: 太田麻衣子 公演監督: 齊藤言子

2023.2 February

25(土) 16:00、26(日) 14:00
第96回オペラ公演『魔笛』
兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール
指揮: 柳澤謙 演出: 高岸未朝 公演監督: 小餅谷哲男